

平成 25 年度 決算に係る

定期監査調書

平成 26 年 8 月

教育委員会事務局 人権教育課

目 次

1 前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)指摘事項	"
(2)監査意見	"
(3)決算審査意見	"
2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	"
3 組織及び業務調べ	2 頁
4 職員の定員、現員調べ	"
5 役付職員の調べ	"
6 主な事業に関する調べ	3 頁
7 決算調書（総括表）	12 頁
8 事業別実施状況調べ	14 頁
9 予備費の充用調べ	16 頁
10 縁越関係調べ	"
11 収入証紙取扱額調べ	"
12 収入事務処理状況調べ	17 頁
13 税外収入未済額調べ	18 頁
14 未収金回収促進のための取り組み状況	19 頁
15 税外収入不納欠損額調べ	20 頁
16 債務負担行為の状況調べ	21 頁
17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	23 頁
18 工事請負費調べ	25 頁
19 財産に関する調べ	"
20 財産の貸付及び使用許可調べ	27 頁
21 借受不動産明細調べ	"
22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	"
23 自動車の管理状況	"
24 寄附物件の受納状況調べ	"
25 備品廃分状況の調べ	"
26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	"
27 貸付金等状況調べ	28 頁
○ 意見、要望等	30 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等														
○鳥取県育英奨学資金貸付金について、未収金の額は増加しており、依然として多額の未収金があった。 未収金額：79,249,046円	<p>1 未収金の現状等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>返還未納額</th><th>前年増減額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度末</td><td>67,723千円</td><td>13,351千円</td></tr> <tr> <td>平成24年度末</td><td>79,249千円</td><td>11,526千円</td></tr> <tr> <td>平成25年度末</td><td>92,633千円</td><td>13,384千円</td></tr> </tbody> </table>			区 分	返還未納額	前年増減額	平成23年度末	67,723千円	13,351千円	平成24年度末	79,249千円	11,526千円	平成25年度末	92,633千円	13,384千円
区 分	返還未納額	前年増減額													
平成23年度末	67,723千円	13,351千円													
平成24年度末	79,249千円	11,526千円													
平成25年度末	92,633千円	13,384千円													
2 原因															
<p>(1) 債権の発生原因 経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金を貸与している。</p>															
<p>(2) 過年度未収金が発生した原因 貸与終了後、高校分は15年以内、大学分は20年以内に月賦又は半年賦の方法により返還する制度であるが、返還が滞っている者があるため。</p>															
<p>(3) 新規未収金が発生した原因 (2) と同様</p>															
3 過年度未収金に対する処理方針															
<p>催告状や法的措置予告といった督促文書を、本人だけではなく、連帯保証人や保証人にも送付し、滞納状況を周知し返還を求める。また、電話督促や個別訪問による返還交渉を行い、状況によっては分割納付に応じる等柔軟に対応し、返還を促す。</p>															
<p>それでもなお返還が進まない者については、債権回収会社へ回収業務を委託したり、法的措置を行うなど、厳正な対応を行う。</p>															
4 未収金が発生しないよう、その発生した年度内に回収するために新たに力を入れる対策															
<p>未納になり始めた早い段階での納付交渉が効果的であり、督促状の発送に併せて電話督促を行う。その専任の非常勤職員を平成25年度に1名増員した。</p>															
<p>未就職や出産など、所得が低く返還が困難な期間は返還請求を猶予し、未納が発生する要因を減らしている。</p>															

- (2) 監査意見 該当なし
(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
人権教育課	社会教育担当	(1) 人権教育の企画に関すること。 (2) 人権教育の指導に関すること。
	学校教育担当	(3) 進学奨励事業に関すること。
	育英奨学室	(4) 育英奨学事業に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	
定員	11	11	0	0	0	0	11	11	
現員	11	11	0	0	0	0	11	11	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	5	5	0	0	0	0	5	5	・納付勧奨専門員(2名) ・一般事務(3名)

5 役付職員の調べ

(平成26年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	岸根 弘幸		4	
課長補佐兼 育英奨学室長	鳥飼 敏博	1	4	継続勤務3年4月

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																			
学校人権教育振興事業 決算額 、 (財源内訳) 一般財源 ○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重 と男女共同 参画の推進 ○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会 の推進	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 学校教育における人権教育の推進・充実のため、研修会の開催や学校への助言・指導を行う。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名(対象等)</th> <th>ねらいと内容</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)</td> <td> 重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 <table border="1"> <tr> <td>〈小・中学校〉</td> <td>全市町村で開催</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉</td> <td>4月26日に開催</td> </tr> </table> </td> <td>延べ17回 参加者42人</td> </tr> <tr> <td>②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)</td> <td>県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。</td> <td>7月30日実施 参加者16人</td> </tr> <tr> <td>③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)</td> <td>「鳥取県人権教育基本方針－第1次改訂－」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>④学校人権教育推進事業（訪問指導）</td> <td>各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。</td> <td>指導助言 延べ 180 回</td> </tr> </tbody> </table>	事業名(対象等)	ねらいと内容	実績	①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 <table border="1"> <tr> <td>〈小・中学校〉</td> <td>全市町村で開催</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉</td> <td>4月26日に開催</td> </tr> </table>	〈小・中学校〉	全市町村で開催	〈高校・特別支援学校〉	4月26日に開催	延べ17回 参加者42人	②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月30日実施 参加者16人	③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)	「鳥取県人権教育基本方針－第1次改訂－」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。	休止	④学校人権教育推進事業（訪問指導）	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ 180 回
事業名(対象等)	ねらいと内容	実績																		
①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 <table border="1"> <tr> <td>〈小・中学校〉</td> <td>全市町村で開催</td> </tr> <tr> <td>〈高校・特別支援学校〉</td> <td>4月26日に開催</td> </tr> </table>	〈小・中学校〉	全市町村で開催	〈高校・特別支援学校〉	4月26日に開催	延べ17回 参加者42人														
〈小・中学校〉	全市町村で開催																			
〈高校・特別支援学校〉	4月26日に開催																			
②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月30日実施 参加者16人																		
③人権教育指導方法等研修会 (教頭以上の管理職)	「鳥取県人権教育基本方針－第1次改訂－」への疑義等に対する県教育委員会の見解を周知するよう計画していたが、周知が図られたことから、実施を見送った。	休止																		
④学校人権教育推進事業（訪問指導）	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ 180 回																		
イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点	児童生徒の実態に応じ、人権を身近に感じられる授業実践について、実践事例を紹介しながら模擬授業の形で具体的に提案した。(事業①)																			
ウ 成 果	① 率直な質疑応答・意見交換を通じて、重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、丁寧に周知することができた。(事業①) ② 県外の先進的実践(特別支援教育の発想を拡張し、生徒一人一人のニーズに応じた支援を組織的に行う)に学び、人権が尊重される学校づくりを具体的にどのように進めていくか、協議を深めることができた。(事業②)																			
エ 課 題	他事業(県立学校人権教育推進支援事業、人権教育実践事業等)の成果を取り入れながら、模擬授業による提案の在り方、指導助言の内容など、継続的に改善・充実に努める必要がある。(事業①、④)																			

事業名	概要																			
人権教育実践事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施し、人権教育の一層の推進を図る。その成果を全県に普及し、自他の人権を大切にしようとする児童生徒の育成を図る。(国委託「人権教育研究推進事業」)</p>																			
決算額 (財源内訳) 国庫委託金 一般財源	<p>1,882千円</p> <p>1,728千円</p> <p>154千円</p> <p>○将来 ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と男女共同参画の推進</p>																			
○政策項目 IV 人財 とつとり 7.人権尊重 社会の推進	<p>(イ)事業の実施状況 モデル地域・モデル校を指定し、実践的な研究を行った。</p> <p>① モデル地域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象地域</th><th>課題(△)と取組内容(○)</th><th>成果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>境港市立第三中学校区</td><td> <p>△自尊感情(自分らしさに自信を持ち、自分を大切な存在と思える感覚)が低い児童生徒が多く、不登校の出現率が高かった。</p> <p>○職場体験、地域の高齢者との交流から、人のために役立っているという感覚を高める体験を充実させた。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童生徒への個別指導をていねいに行つた。</p> </td><td> <p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 10月: 66.2% (5月: 60.9%)</p> </td></tr> </tbody> </table> <p>② モデル校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th><th>課題(△)と取組内容(○)</th><th>成果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米子市立大篠津小学校</td><td> <p>△小規模校のため、友人関係の組合せに多様性が欠け、集団の中での役割が固定的になったり、自己主張を控えがちだったりした。</p> <p>○学年を超えた様々な組合せの中でしっかりと相手の意見を聞き、認め合う指導を充実させた。</p> <p>○授業の中でどの子も活躍できる場(ペア・グループの話し合い)の仕組み方を充実させた。</p> </td><td> <p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。 「学習したことはよく理解できましたか」 児童: 96% (H24 96%) 教師: 100% (H24 82%)</p> </td></tr> <tr> <td>米子市立崎津小学校</td><td> <p>△適切に自己を表現する力が未発達。</p> <p>○話し合いのルールの明確化、多様な話し方・聴き方のモデルの提示など、児童の実態を踏まえた教材・教具の開発に取組んだ。</p> <p>○教師用「人権が尊重される授業づくりチェックリスト」を開発し活用した。</p> </td><td> <p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答が高水準で推移 「友だちと仲良くしていますか」 児童: 95% (H24 95%) 保護者: 93% (H24 93%)</p> </td></tr> <tr> <td>米子市立和田小学校</td><td> <p>△自ら判断し主体的に行動する力が未発達。</p> <p>○全員が発表できる場づくり、目的意識を明確にした(自分の考えをしっかり持てる)問い合わせ方の工夫に取組んだ。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童への個別指導をていねいに行つた。</p> </td><td> <p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 H25: 83% (H24: 68%)</p> </td></tr> </tbody> </table>		対象地域	課題(△)と取組内容(○)	成果	境港市立第三中学校区	<p>△自尊感情(自分らしさに自信を持ち、自分を大切な存在と思える感覚)が低い児童生徒が多く、不登校の出現率が高かった。</p> <p>○職場体験、地域の高齢者との交流から、人のために役立っているという感覚を高める体験を充実させた。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童生徒への個別指導をていねいに行つた。</p>	<p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 10月: 66.2% (5月: 60.9%)</p>	対象校	課題(△)と取組内容(○)	成果	米子市立大篠津小学校	<p>△小規模校のため、友人関係の組合せに多様性が欠け、集団の中での役割が固定的になったり、自己主張を控えがちだったりした。</p> <p>○学年を超えた様々な組合せの中でしっかりと相手の意見を聞き、認め合う指導を充実させた。</p> <p>○授業の中でどの子も活躍できる場(ペア・グループの話し合い)の仕組み方を充実させた。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。 「学習したことはよく理解できましたか」 児童: 96% (H24 96%) 教師: 100% (H24 82%)</p>	米子市立崎津小学校	<p>△適切に自己を表現する力が未発達。</p> <p>○話し合いのルールの明確化、多様な話し方・聴き方のモデルの提示など、児童の実態を踏まえた教材・教具の開発に取組んだ。</p> <p>○教師用「人権が尊重される授業づくりチェックリスト」を開発し活用した。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答が高水準で推移 「友だちと仲良くしていますか」 児童: 95% (H24 95%) 保護者: 93% (H24 93%)</p>	米子市立和田小学校	<p>△自ら判断し主体的に行動する力が未発達。</p> <p>○全員が発表できる場づくり、目的意識を明確にした(自分の考えをしっかり持てる)問い合わせ方の工夫に取組んだ。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童への個別指導をていねいに行つた。</p>	<p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 H25: 83% (H24: 68%)</p>
対象地域	課題(△)と取組内容(○)	成果																		
境港市立第三中学校区	<p>△自尊感情(自分らしさに自信を持ち、自分を大切な存在と思える感覚)が低い児童生徒が多く、不登校の出現率が高かった。</p> <p>○職場体験、地域の高齢者との交流から、人のために役立っているという感覚を高める体験を充実させた。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童生徒への個別指導をていねいに行つた。</p>	<p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 10月: 66.2% (5月: 60.9%)</p>																		
対象校	課題(△)と取組内容(○)	成果																		
米子市立大篠津小学校	<p>△小規模校のため、友人関係の組合せに多様性が欠け、集団の中での役割が固定的になったり、自己主張を控えがちだったりした。</p> <p>○学年を超えた様々な組合せの中でしっかりと相手の意見を聞き、認め合う指導を充実させた。</p> <p>○授業の中でどの子も活躍できる場(ペア・グループの話し合い)の仕組み方を充実させた。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答の増加。 「学習したことはよく理解できましたか」 児童: 96% (H24 96%) 教師: 100% (H24 82%)</p>																		
米子市立崎津小学校	<p>△適切に自己を表現する力が未発達。</p> <p>○話し合いのルールの明確化、多様な話し方・聴き方のモデルの提示など、児童の実態を踏まえた教材・教具の開発に取組んだ。</p> <p>○教師用「人権が尊重される授業づくりチェックリスト」を開発し活用した。</p>	<p>○学校自己評価アンケートでの肯定的回答が高水準で推移 「友だちと仲良くしていますか」 児童: 95% (H24 95%) 保護者: 93% (H24 93%)</p>																		
米子市立和田小学校	<p>△自ら判断し主体的に行動する力が未発達。</p> <p>○全員が発表できる場づくり、目的意識を明確にした(自分の考えをしっかり持てる)問い合わせ方の工夫に取組んだ。</p> <p>○Hyper-QU心理検査の結果を生かし、児童への個別指導をていねいに行つた。</p>	<p>○Hyper-QU心理検査における学級生活満足群の増加。 H25: 83% (H24: 68%)</p>																		

事業名	概要		
	対象校	課題(△)と取組内容(○)	成果
	米子市立美保中学校	<p>△自尊感情が低く、自分の思いを伝えるのが苦手。</p> <p>○「美保中人権宣言」「校内人権弁論」の取組でお互いを認め合う活動を充実させた。</p> <p>○教師用「(自尊感情を中心に)人権が尊重される授業づくりチェックリスト」を開発し活用した。</p>	<p>○米子市人権意識調査での肯定的回答の増加。</p> <p>「あなたは自分自身がまわりの友達から差別されず、大切にされていると思しますか」</p> <p>生徒：72% (H24 65%)</p>
<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 人権教育の指導方法の根幹である「協力」「参加」「体験」についての理解が浸透するようモデル地域・モデル校の課題に即した指導を行った。</p> <p>エ 課題 研究成果を共有する場面(人権教育主任研究協議会等)の在り方について継続的に工夫・改善していく必要がある。</p>			

事業名	概要												
生活につながると つとり人権教育創 造事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 いじめ、不登校等の未然防止に向け、児童生徒の「居場所づくり」「絆づくり」について人権教育の視点から研究する。</p>												
決算額 (財源内訳)	<p>366千円</p> <p>(イ)事業の実施状況 児童生徒が自己存在感を感じられる居場所づくり、児童生徒が主体的に活躍できる場面を実現する絆づくりを研究テーマとする授業研究会に、指導・助言者(大学教授等及び指導主事)を派遣し、研究を支援した。</p>												
一般財源 ○将来ビジョン Ⅴ 支え合う (1)人権の尊重と 男女共同参画 の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>研究テーマ</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取市立面影小学校</td> <td>適切な自己表現</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>米子市立福米中学校</td> <td>自尊感情</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>伯耆町立二部小学校</td> <td>自尊感情</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table>	学 校	研究テーマ	実施回数	鳥取市立面影小学校	適切な自己表現	2回	米子市立福米中学校	自尊感情	1回	伯耆町立二部小学校	自尊感情	7回
学 校	研究テーマ	実施回数											
鳥取市立面影小学校	適切な自己表現	2回											
米子市立福米中学校	自尊感情	1回											
伯耆町立二部小学校	自尊感情	7回											
○政策項目 Ⅳ人財とつとり 7.人権尊重社会 の推進	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 児童生徒の実態を踏まえて多様な教材・教具(学習課題)を準備したり、多様な表現方法を提示したりするなど、「居場所づくり」「絆づくり」に係る方策を指導した。</p> <p>ウ 成 果 「適切な自己表現」「自尊感情」等の資質・能力の育成が図られた。 <成果の検証の例></p> <p>○自尊感情に係る児童アンケートの回答 A:はい B:いいえ</p> <p>(アンケート項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分にはよいところがある。 ②自分の考えや思いを発表できた。 ③色別班やクラブ・委員会、運動会、学習発表会などで他の学年の人とも協力したり話し合ったりして楽しく活動できた。 <p>エ 課 題 研究成果を共有する場面(人権教育主任研究協議会等)の在り方について継続的に工夫・改善していく必要がある。</p>												

事業名	概要
奨学資金債権回収強化事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 　　奨学金(進学奨励資金・育英奨学資金)未納額の増加を抑制するため、徴収促進の取組みを行う。</p>
決算額 6,760千円 (財源内訳)	<p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 徴収業務担当職員(職員2名)及び納付勧奨専門員(非常勤職員2名)を配置し、未納返還金の督促業務を専門的に行った。 ② 債権回収会社(サービスサー)へ債権回収業務を委託した。 ③ 高額未納者等に対し、法的措置を行った。
一般財源 6,760千円	
○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」 の推進	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年4月から非常勤職員を1名増員し、未納になり始めた者への督促対応を行った。 ・未就職や出産など、所得の少ない期間の支払請求を猶予する制度を新設し、未納の発生する要因を減らした。(規則改正・平成25年3月下旬～適用) <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 職員配置の強化により、効率的な督促業務が行えたことから、収納額が約5億3千円(H24年度:約4億8千万円)となり、目標額(4億7千万円)を大きく上回った。 ② 債権回収会社への督促業務の委託により、一部の返還が進まない未納者からの返還が行われた。 <p>(委託総数 141人→返還 45人(125件)・金額ベース回収率 10.7%)</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 長期未納者・高額未納者が多いことから、引き続き、更に効果的な債権回収方法を検討し、回収を促進する必要がある。 ② 現在取り組んでいる回収方法についても、効果を検証する必要がある。

事業名	概要																										
人権尊重のまちづくり推進支援事業	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 地域社会における人権尊重のまちづくりを住民一人一人が主体者として進められるよう、市町村が実施する人権教育施策、住民学習の充実への支援を行う。																										
決算額 (財源内訳) 一般財源 ○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と男女共同参画の推進 ○政策項目 IV 人財ととり 7.人権尊重社会の推進	* 参考(人権教育課と人権・同和対策課の関わり) <p>国 「人権教育・人権啓発の推進に関する法律」(H12)</p> <table border="1"> <tr> <td><人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育</td> <td><人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">文部科学省</td> <td style="text-align: center;">法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">連携</td> </tr> <tr> <td>教育委員会(人権教育課)</td> <td>知事部局(人権・同和対策課)</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 学校における人権教育の推進 社会教育における人権教育の推進 (人権教育の理念の周知、人権学習プログラムの提供、市町村人権教育担当者研修等) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 同和問題に関する事業の実施 人権啓発・教育の取組 等 (啓発行事、啓発資料作成 等) </td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">連携・支援</td> </tr> <tr> <td> <p>市町村教育委員会・市町村 社会教育関係団体(PTA・人推協等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進組織の確立 住民学習の機会の提供 (講座・学級・交流活動・小地域懇談会) 指導者の育成 等 </td> <td> <p>市町村 県民 民間団体 企業 等</p> </td> </tr> </table> <p>(イ)事業の実施状況 ①市町村合同研究協議会 市町村の行政関係者等と研究協議を行い、人権教育アドバイザーが市町村の抱える課題について助言を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>アドバイザー</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部町(7月8日)</td> <td>中尾、竹本</td> <td>人権教育推進者の組織づくりについて</td> </tr> <tr> <td>大山町(7月31日)</td> <td>澤田、大下</td> <td>差別事象・事件の対応の連携強化について</td> </tr> <tr> <td>日野町(10月30日)</td> <td>加持谷、新井</td> <td>啓発事業の企画について 隣保館の移転について</td> </tr> </tbody> </table>	<人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育	<人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)	文部科学省	法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)	連携		教育委員会(人権教育課)	知事部局(人権・同和対策課)	<ul style="list-style-type: none"> 学校における人権教育の推進 社会教育における人権教育の推進 (人権教育の理念の周知、人権学習プログラムの提供、市町村人権教育担当者研修等) 	<ul style="list-style-type: none"> 同和問題に関する事業の実施 人権啓発・教育の取組 等 (啓発行事、啓発資料作成 等) 	連携・支援		<p>市町村教育委員会・市町村 社会教育関係団体(PTA・人推協等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進組織の確立 住民学習の機会の提供 (講座・学級・交流活動・小地域懇談会) 指導者の育成 等 	<p>市町村 県民 民間団体 企業 等</p>	市町村	アドバイザー	概要	南部町(7月8日)	中尾、竹本	人権教育推進者の組織づくりについて	大山町(7月31日)	澤田、大下	差別事象・事件の対応の連携強化について	日野町(10月30日)	加持谷、新井	啓発事業の企画について 隣保館の移転について
<人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育	<人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)																										
文部科学省	法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)																										
連携																											
教育委員会(人権教育課)	知事部局(人権・同和対策課)																										
<ul style="list-style-type: none"> 学校における人権教育の推進 社会教育における人権教育の推進 (人権教育の理念の周知、人権学習プログラムの提供、市町村人権教育担当者研修等) 	<ul style="list-style-type: none"> 同和問題に関する事業の実施 人権啓発・教育の取組 等 (啓発行事、啓発資料作成 等) 																										
連携・支援																											
<p>市町村教育委員会・市町村 社会教育関係団体(PTA・人推協等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進組織の確立 住民学習の機会の提供 (講座・学級・交流活動・小地域懇談会) 指導者の育成 等 	<p>市町村 県民 民間団体 企業 等</p>																										
市町村	アドバイザー	概要																									
南部町(7月8日)	中尾、竹本	人権教育推進者の組織づくりについて																									
大山町(7月31日)	澤田、大下	差別事象・事件の対応の連携強化について																									
日野町(10月30日)	加持谷、新井	啓発事業の企画について 隣保館の移転について																									

事業名	概要							
	市町村	アドバイザー	概要					
	伯耆町(11月14日)	佐藤、荒益	事業所研修会について					
	日吉津村 (2月18日)	一盛、中尾	村人権・同和教育推進協議会の活性化について					
②人権教育アドバイザー事業								
事業	概要							
会議	H25.6.6	県、市町村の人権教育の現状、方向性等について研究協議を実施。(一部、市町村担当者と合同)						
研修会	H26.3.7							
県外研修会	最近の課題となっている分野等の県外の研修会にアドバイザーを派遣し、資質向上を図った。							
イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし								
ウ 成 果 <ul style="list-style-type: none"> ① 市町村合同研究協議会では、人権教育推進のための組織づくり、啓発事業の企画についてなど、市町村が抱える諸課題について、解決の方向性を見出すことができた。 ② 市町村担当者を交えてアドバイザーミーティング等を行ったことで、双方の共通理解を図ることができた。 								
エ 課 題 <ul style="list-style-type: none"> ① 市町村と県との連携強化を図るため、市町村合同研究協議会の計画的な開催について市町村へ働きかけることが必要である。 ② 人権教育アドバイザーの自己研鑽の機会を継続的に設定し、資質の向上を図ることが必要である。 								

事業名	概要																																																		
育英奨学事業費 (育英奨学事業特別会計)	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 高等学校等・大学等に在学する者で、経済的理由により修学が困難な者に対して、育英奨学資金を貸与することにより、有用な人材を育成する。</p>																																																		
決算額 884,099千円	<p>(イ)事業の実施状況</p> <p>○ 高等学校等</p> <p>① 奨学生数及び奨学資金貸与状況</p>																																																		
(財源内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>新規採用</th> <th>継続</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予約 (中3)</td> <td>在学</td> <td></td> <td></td> <td>・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,692名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成26年度に高校等へ進学予定の中3年生を対象に予約採用を行った (出願者 261名/採用者 261名:H26 貸与者)</td> </tr> <tr> <td>国公立</td> <td>218</td> <td>155</td> <td>759</td> <td>1,132</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>82</td> <td>125</td> <td>353</td> <td>560</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>300</td> <td>280</td> <td>1,112</td> <td>1,692</td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">448,138 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>貸与月額</td> <td>国・公立</td> <td>私立</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>自宅</td> <td>18,000 円</td> <td>30,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>自宅外</td> <td>23,000 円</td> <td>35,000 円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	奨学生数			備考	新規採用	継続	合計	予約 (中3)	在学			・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,692名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成26年度に高校等へ進学予定の中3年生を対象に予約採用を行った (出願者 261名/採用者 261名:H26 貸与者)	国公立	218	155	759	1,132	私立	82	125	353	560	計	300	280	1,112	1,692	貸与総額	448,138 千円					貸与月額	国・公立	私立			自宅	18,000 円	30,000 円			自宅外	23,000 円	35,000 円	
区分	奨学生数				備考																																														
	新規採用	継続	合計																																																
予約 (中3)	在学			・左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,692名) ・新規採用出願倍率 1.0倍 ・平成26年度に高校等へ進学予定の中3年生を対象に予約採用を行った (出願者 261名/採用者 261名:H26 貸与者)																																															
国公立	218	155	759	1,132																																															
私立	82	125	353	560																																															
計	300	280	1,112	1,692																																															
貸与総額	448,138 千円																																																		
	貸与月額	国・公立	私立																																																
	自宅	18,000 円	30,000 円																																																
	自宅外	23,000 円	35,000 円																																																
繰入金 388,900千円	<p>② 平成25度返還状況調定総額 317,515,590円、返還総額 241,962,142円</p>																																																		
元利収入 423,392千円	<p>○ 大学等</p> <p>① 奨学生数及び奨学資金貸与状況</p>																																																		
その他 71,807千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>新規採用</th> <th>継続</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>180</td> <td>417</td> <td>597</td> <td>・左表のとおり奨学金の貸与を行った(717名) ・平成26年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.95倍(240名/468名)</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>59</td> <td>61</td> <td>120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>239</td> <td>478</td> <td>717</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">429,489 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>貸与月額</td> <td>国・公立</td> <td>私立</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	奨学生数			備考	新規採用	継続	合計	大学	180	417	597	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(717名) ・平成26年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.95倍(240名/468名)	専修学校	59	61	120		計	239	478	717		貸与総額	429,489 千円					貸与月額	国・公立	私立			45,000 円	54,000 円												
区分	奨学生数				備考																																														
	新規採用	継続	合計																																																
大学	180	417	597	・左表のとおり奨学金の貸与を行った(717名) ・平成26年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.95倍(240名/468名)																																															
専修学校	59	61	120																																																
計	239	478	717																																																
貸与総額	429,489 千円																																																		
	貸与月額	国・公立	私立																																																
	45,000 円	54,000 円																																																	
○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」 の推進	<p>② 平成25年度返還状況</p> <p>調定総額 199,477,143円、返還総額 182,169,169円</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外からの転入者も貸与の対象となるよう、貸付金の貸与要件を一部緩和した。 ・高校入学後早期に開始できるよう、手続きを見直した。 ・書類の不備等を減らすため、提出書類の様式を見直した。 																																																		

事業名	概要
	<p>ウ 成 果 経済的理由により修学が困難な者の修学を支援した。</p> <p>エ 課 題 平成14年度に制度創設した育英奨学資金(高校分)の返還が本格化し、毎年返還者が増加(新規貸与者:年間 600~700 人)するのに伴い、必然的に未納者・未納額が急増してきており、その対策が必要。</p>

7 決算調書
(総括表)

【一般会計】 (単位:円)

区分	科 目	予 算			現 領			決 算			決 算 領 の 内 訳			備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び事業費額	繰越支用増減	予備費支用増減	計 A	決算 B	本 庁	出納機関	翌年度繰越額 C	差引増減額 A - B - C		
歳 出	教育振興費	8,728,000	△ 790,000	0	0	7,938,000	6,450,441	5,075,041	1,375,400	0	0	1,487,559		
	育英奨学事業費	653,198,000	△ 103,859,000	0	0	549,339,000	507,848,693	507,848,693	0	0	0	41,490,307		
	社会教育総務費	6,182,000	0	0	0	6,182,000	5,538,280	5,538,280	0	0	0	643,720		
同 上	合計	668,108,000	△ 104,649,000	0	0	563,459,000	519,837,414	518,462,014	1,375,400	0	0	43,621,586		
	教育費委託金	2,590,000	△ 790,000	0	0	1,800,000	1,728,183			0	0	71,817		
	利子及び配当金	575,000	0	0	0	575,000	572,472			0	0	2,528		
財 源	教育費寄附金	0	56,105,000	0	0	56,105,000	56,139,608			0	0	△ 34,608		
	授業料減免・奨学生基⾦繰入金	4,529,000	1,872,000	0	0	6,401,000	6,391,000			0	0	10,000		
	延滞金	20,000	0	0	0	20,000	256,483			0	0	△ 236,483		
内 訳	進学奨励資金貸付金元利收入	99,463,000	0	0	0	99,468,000	105,974,017			0	0	△ 6,506,017		
	雜入	50,000	0	0	0	50,000	7,891,557			0	0	△ 7,841,557		
	小計	107,232,000	57,187,000	0	0	164,419,000	178,953,320			0	0	△ 14,534,320		
	一般累費充当	560,876,000	△ 161,836,000	0	0	399,040,000	340,884,094			0	0	58,155,906		
	合計	668,108,000	△ 104,649,000	0	0	563,459,000	519,837,414			0	0	43,621,586		

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

区分	科 目	予 算		現 額		決 算		内 計		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A - B - C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び事業費額	予備費支出し額	計 A	決算 B	本 庁	出納機関			
歳 出	育英奨学生資金貸付 事業費	1,002,701,000	△ 118,238,000	0	0	884,463,000	884,099,604	884,099,604	0	0	363,396	
	合計 a	1,002,701,000	△ 118,238,000	0	0	884,463,000	884,099,604	884,099,604	0	0	363,396	
同 上	一般会計からの繰入 前年度繰越金	529,491,000	△ 102,286,000	0	0	427,205,000	388,900,487			0	38,304,513	
財 源 内 計	貯金元利收入 日本学生支援機構 交付金	375,859,000	9,593,000	0	0	704,000	704,909			0	△ 909	
	合計 b	1,002,701,000	△ 118,238,000	0	0	884,463,000	884,838,707			0	△ 375,707	
	歳入歳出差引残額 b-a	0	0	0	0	739,103				0	△ 739,103	

8 事業別実施状況調べ

【一般会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教育振興費) (主) 学校人権教育 振興事業	2,237,000	1,936,074	0	300,926	
(主) 人権教育実践 事業	1,950,000	1,882,431	0	67,569	
県立学校人権 教育推進支援 事業	3,147,000	2,265,959	0	881,041	全ての県立学校が、主体的に企画・立 案・実施する人権教育を支援するため、 それに要する経費を負担した。 →自校の課題解決に生徒・保護者を巻き 込んだ実践が行われ、学校毎に特色あ る人権教育の推進に反映させることができ た。事業の成果を実践事例集として公 表した。
(主) 生活につなが るとつとり人権 教育創造事業	604,000	365,977	0	238,023	
教育振興費 計	7,938,000	6,450,441	0	1,487,559	
(育英奨学事業費) (主) 奨学資金債権 回収強化事業	7,736,000	6,760,326	0	975,674	
進学奨励事業	81,686,000	80,706,631	0	979,369	○国庫補助金の償還(77,206千円) 国庫補助金を財源とする奨学金だっ たため、平成23年度に返還された額の 2/3を国に返還した。 ○返還免除の決定 所得が基準額を下回る世帯に対し て返還免除の決定を行った。 (申請293件、決定210件) ○平成25年度収納状況 調定額339,864、収納額105,974千円

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																		
育英奨学事業	436,285,000	397,118,416	0	39,166,584	<p>○大学等進学資金助成金(937千円) 大学等への進学に際して、金融機関から借入れた教育ローン等の利息の一部を助成した。</p> <p>○修学奨励資金(336千円) 定時制・通信制に通う勤労学生に対して修学奨励資金を貸与した。</p> <p>○特別会計への繰出金(388,900千円) 鳥取県育英奨学資金(高校・大学等)を貸与するため、一般会計から特別会計へ繰出した。</p>																		
県育英会助成事業	23,632,000	23,263,320	0	368,680	(財)鳥取県育英会の運営する東京学生寮について、適正な管理運営を指導するとともに経営の健全化を図るため、次のとおり助成した。																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>補助金額</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生寮管理者報酬 ・退職金積立</td><td>10,078,793</td><td>寮長2名分</td></tr> <tr> <td>学生寮指導員給与 ・委託料等</td><td>5,453,527</td><td>指導員2名分</td></tr> <tr> <td>給食業務委託料</td><td>5,400,000</td><td>補助率1/2 (食材費除く)</td></tr> <tr> <td>當繕補修費</td><td>2,331,000</td><td>清和寮食堂 エアコン修繕</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>23,263,320</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区分	補助金額	備考	学生寮管理者報酬 ・退職金積立	10,078,793	寮長2名分	学生寮指導員給与 ・委託料等	5,453,527	指導員2名分	給食業務委託料	5,400,000	補助率1/2 (食材費除く)	當繕補修費	2,331,000	清和寮食堂 エアコン修繕	合 計	23,263,320	
区分	補助金額	備考																					
学生寮管理者報酬 ・退職金積立	10,078,793	寮長2名分																					
学生寮指導員給与 ・委託料等	5,453,527	指導員2名分																					
給食業務委託料	5,400,000	補助率1/2 (食材費除く)																					
當繕補修費	2,331,000	清和寮食堂 エアコン修繕																					
合 計	23,263,320																						
育英奨学事業費 計	549,339,000	507,848,693	0	41,490,307																			

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(社会教育総務費)					
(主) 人権尊重のまちづくり推進支援事業	1,485,000	912,320	0	572,680	
社会人権教育振興事業	4,697,000	4,625,960	0	71,040	人権教育の推進を担う鳥取県人権教育推進協議会へ補助を行い、「第38回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(H25.8.7~8、述べ参加者 3,093名)の開催や「市町村人・同推協等活動状況調査」など幅広い活動を行った。
社会教育総務費 計	6,182,000	5,538,280	0	643,720	
合 計	563,459,000	519,837,414	0	43,621,586	

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(主) 育英奨学事業費	884,463,000	884,099,604	0	363,396	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入・事務処理状況調べ

該当なし
該当なし
該当なし

(1) 分担金及び負担金

(2) 費用料

(3) 手数料

(4) 財産収入

目	科	目	細節	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法命令等	備考
利子及び酬当金	利子及び酬当金			1	572,472	572,472	0	0	0	基金運用による利子
本 庁 執 行 分 計 (目)					572,472	572,472	0	0	0	
合 計					572,472	572,472	0	0	0	

(5) 寄付金

事業名	予算額	収入済額	寄付者	寄付の目的	備考
育英奨学事業	56,105,000	56,139,608	個人(匿名)	奨学生の財源	
合 計	56,105,000	56,139,608			

(6) 諸収入

【一般会計】

目	科	目	細節	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法命令等	備考
延滞金	延滞金			7	533,923	256,483	0	277,440	育英奨学資金返還金に係る延滞金	
本 庁 執 行 分 計 (目)					533,923	256,483	0	277,440		
進学奨励資金 貸付金元利收 入	進学奨励資金 貸付金元利收 入			16,651	33,864,441	105,974,017	812,070	233,076,354	進学奨励資金償還金 (高校・専修大学)	
本 庁 執 行 分 計 (目)					33,864,441	105,974,017	812,070	233,076,354		
過払付金未戻入	過払付金未戻入			16	663,200	136,200	0	527,000	中途退學等による 過払受取資金未戻入金	
裁判費用	裁判費用			19	160,350	160,350	0	0	裁判手数料に係る費用 (原因者負担)	
雇用保険料	雇用保険料			60	48,751	48,751	0	0	雇用保険料本人負担分	
財団法人解散に伴う贈附 銀行利息	財団法人解散に伴う贈附 銀行利息			1	7,546,245	7,546,245	0	0	財團法人解散に伴う贈附 銀行利息	
本 庁 執 行 分 計 (目)				4	11	11	0	0	0	要学生返還金受領口座等に係る預金利息
合 計					348,816,921	114,122,057	812,070	233,882,794		

【育英奨学事業特別会計】

目	科	目	細節	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法命令等	備考
資付金元利 収入	育英奨学資金貸付金元利 収入(高校) 育英奨学資金貸付金元利 収入(大学)			51,186	317,515,590	241,962,142	228,300	75,325,148		
日本学生支援 機構交付金	日本学生支援 機構交付金			11,736	199,477,143	182,169,169	0	17,307,974		
本 庁 執 行 分 計 (目)				62,922	516,992,733	424,131,311	228,300	92,633,122		
合 計				1	71,102,000	71,102,000	0	0		
					58,094,733	495,233,311	228,300	92,633,122		
					58,094,733	495,233,311	228,300	92,633,122		

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

収入科目(節)			収入額	備考
一般会計	進学奨励資金貸付金元利收入		95,1960	進学奨励資金貸付金の返還金
特別会計	育英奨学金貸付金元利收入		1,436,900	育英奨学金貸付金の返還金
	合計		2,388,860	

イ つり銭の状況

つり銭の有無	無し	つり銭の額(円)	0

13 税外収入未済額調べ

【一般会計】

収入科目 目	区分 筋	細節	過去 年 度 分			現 年 度 分		
			収入未済額 A		収入未済額 B	調定額	収入未済額 C	収入未 済額 A+B
			22年度以前	23年度				
延滞金	延滞金		47,480	200,040	0	277,440	0	56,443
本庁執行分計(目)		477,480	200,040	0	277,440	0	56,443	0
進学奨励資金 貸付金元利收 入	246,250,711	32,940,806	812,070	212,497,835	174,276,447	20,067,939	18,153,449	93,613,730
本庁執行分計(目)		246,250,711	32,940,806	812,070	212,497,835	174,276,447	20,067,939	18,153,449
雜 入	過払金 未収入	663,200	136,200	0	527,000	509,000	18,000	0
	裁判費用	39,780	39,780	0	0	0	0	120,570
	その他	0	0	0	0	0	7,546,256	7,546,256
本庁執行分計(目)		702,980	175,980	0	527,000	509,000	18,000	0
合 計		247,431,171	33,316,826	812,070	213,302,275	175,062,887	20,035,939	18,153,449
							101,336,999	80,756,480
							0	20,580,519
								233,882,794

【育英奨学事業特別会計】

収入科目 目	区分 筋	細節	過去 年 度 分			現 年 度 分		
			収入未済額 A		収入未済額 B	調定額	収入未済額 C	収入未 済額 A+B
			22年度以前	23年度				
賞付金元利收 入	高等学校 等賞付金 大学等貸 付金	62,345,550 16,903,496	13,019,682 3,979,024	176,700 0	49,149,168 1,2924,472	18,382,887 7,722,752	13,342,687 2,353,156	17,423,594 182,573,647
本庁執行分計(目)		79,249,046	16,398,706	176,700	62,073,640	26,105,639	15,695,843	20,272,158
合 計		79,249,046	16,398,706	176,700	62,073,640	26,105,639	15,695,843	20,272,158
							437,743,687	437,743,687
							407,132,605	51,600
							30,559,482	30,559,482
							51,600	30,559,482
							0	92,633,122
								92,633,122

14 未収金回収促進のための取り組み状況

収入科目			債権管理 事務取扱 要領の作 成の有無	取り組み状況	取り組み効果																																									
目	節	細節																																												
【一般会計】																																														
延滞金 加算金 及び過 料	延滞金		無 奖学資金元利 收入に付隨す るものである ため。	法的措置(支払督促申立・債 権差押)に合わせて延滞金・ 遅延損害金の請求を相手方 に行った。	○平成25年度未収入額 277,440 円 (H25年度収入額 256,483 円)																																									
進学 奨励 資金 元利 収入	進学 奨励 資金 元利 収入	貸付 金	H23.1.31	<p>1 督促状・文書催告の送付 及び電話督促の実施</p> <p>2 20万円以上未納かつ直 近6ヶ月以内に入金の無い 奨学生に対して「長期・高額 未納者」と認定し、特定記 録郵便により督促の通知を した(8名)</p> <p>3 債権回収体制の強化(微 収業務に従事する職員1名 と納付勧奨専門員(非常勤 職員)2名の配置)により、 電話督促や法的措置を強 化した。</p> <p>4 債権回収会社(サービサ ー)へ回収業務委託を行つ た。(84人)</p>	<p>○現年度及び過年度未収金について、昨年度に続き収納の 向上が見られた。今後も回収強化を図る。</p> <p>【収納状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="3">収納額(千円)</th> <th colspan="3">収納率(%)</th> </tr> <tr> <th>過年度</th> <th>現年度</th> <th>計</th> <th>過年度</th> <th>現年度</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>32,941</td> <td>73,033</td> <td>105,974</td> <td>13.7</td> <td>78.0</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>33,229</td> <td>76,500</td> <td>109,729</td> <td>12.9</td> <td>78.0</td> <td>30.7</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>35,278</td> <td>80,531</td> <td>115,809</td> <td>13.2</td> <td>75.4</td> <td>30.9</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>43,985</td> <td>93,255</td> <td>137,240</td> <td>15.4</td> <td>76.4</td> <td>33.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「長期・高額未納者認定通知」に反応し、一度も入金がなか った高額未納者から一括返還の申し出、若しくは分割返還 の開始があった。(返還又は連絡件数 2件)</p> <p>○県外在住及び法的措置後も返還が進まない未納者に対し て債権回収業務委託を行つた。</p> <p>委託債権 84人 21,512,116 円 回収実績 25人 2,023,762 円 (一部収納含む)</p>	年 度	収納額(千円)			収納率(%)			過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体	25	32,941	73,033	105,974	13.7	78.0	31.4	24	33,229	76,500	109,729	12.9	78.0	30.7	23	35,278	80,531	115,809	13.2	75.4	30.9	22	43,985	93,255	137,240	15.4	76.4	33.7
年 度	収納額(千円)			収納率(%)																																										
	過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体																																								
25	32,941	73,033	105,974	13.7	78.0	31.4																																								
24	33,229	76,500	109,729	12.9	78.0	30.7																																								
23	35,278	80,531	115,809	13.2	75.4	30.9																																								
22	43,985	93,255	137,240	15.4	76.4	33.7																																								
雑入	雑入	(過払金)	無 奖学資金元利 收入に付隨す るものである ため。	中途退学者等の過払金返 戻について電話による戻入 勧奨を行つた。	○平成25年度未戻入額(過払金のみ) 527,000 円 (H25年度戻入額 136,200 円)																																									
		(裁判費 用)	無 奖学資金元利 收入に付隨す るものである ため。	法的措置の必要経費の請 求を支払督促や和解判決に 基づいて相手方に行つた。	○平成25年度未収入額(裁判費用のみ) 0 円 (H25年度収入額 160,350 円)																																									

収入科目			債権管理 事務取扱 要領の作 成の有無	取り組み状況	取り組み効果					
目	節	細節								
【育英奨学事業特別会計】										
貸付 金元 利収 入	貸付 金元 利収 入	貸付 金	有 H26.1.31	1 年間を通じて文書及び電話による納付勧奨を行った。 2 債権回収会社(サービス)へ回収業務委託を行った。 (高校分57人)	○平成14年度から事業を開始した高校奨学生の返還が増加しており、今後も徴収体制を整え、未納が増大しないよう努めしていく。	年 度	収納額(千円) 過年度 現年度 計	収納率(%) 過年度 現年度 全体		
					25 17,003 407,128 424,131	21.7 93.0 82.1				
					24 13,984 355,442 369,426	22.0 93.1 82.4				
					23 10,798 335,081 345,879	21.6 93.0 83.7				
					22 8,147 282,987 291,134	19.7 93.0 84.3				
○県外在住及び法的措置後も返還が進まない未納者に対して債権回収業務委託を行った。 委託債権 57人 8,375,843円 回収実績 20人 1,160,141円 (一部収納含む)										

15 税外収入不納欠損額調べ

【一般会計】

(単位:円)

収入科目			不納欠損額	不納欠損の理由		
目	節	細節				
進学奨励資金 貸付金元利收入	進学奨励資金貸付 金元利收入		812,070	奨学生本人が死亡した(3件)及び奨学生本人が精神若しくは身体に著しい障害を受けた(1件)ことから「貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例」の規定により、未納となっている金額を不納欠損処分した。		
目 計			812,070			
合 計			812,070			

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

収入科目			不納欠損額	不納欠損の理由		
目	節	細節				
育英奨学資金 貸付金元利收入	育英奨学資金貸付 金元利收入		228,300	奨学生本人が死亡した(4件)ことから「貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例」の規定により、未納となっている金額を不納欠損処分した。		
目 計			228,300			
合 計			228,300			

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	債務負担行為の期間				執行(支出)状況	
		議決	期間		24年度までの執行額 A	25年度 の執行額 B	26年度以降 の執行予定額 C	合計 A+B		備考
平成20年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成20年3月	21年度から25年度まで	648,984,000	584,820,000	0	582,881,000	1,939,000	0	584,820,000 高校
平成21年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成21年3月他	22年度から26年度まで	795,972,000	526,736,000	0	522,416,000	2,160,000	0	526,736,000 高校
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成22年3月	23年度から27年度まで	795,972,000	461,089,000	0	317,402,000	129,875,000	13,812,000	461,089,000 高校
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年3月	24年度から28年度まで	795,972,000	461,068,000	0	159,232,000	159,232,000	142,804,000	461,068,000 高校
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年6月	24年度から28年度まで	4,656,000	432,000	0	216,000	216,000	0	432,000 高校
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成24年3月	25年度から29年度まで	707,436,000	450,834,000	0	0	154,716,000	296,118,000	450,834,000 高校
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成25年3月	26年度から30年度まで	707,436,000	383,258,000	0	0	0	383,258,000	383,258,000 高校
高校貸付金 計				4,456,428,000	2,868,237,000	0	1,582,147,000	448,138,000	837,952,000	2,868,237,000

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行(支出)状況				合 計 A+B	備考
		議決	期間		限度額	設定年度 の執行額 A	24年度まで の執行額 の執行額	25年度 の執行額	26年度以降 の執行予定額 円	
平成19年度 育英奨学生貸付金	貸付金 6月	平成19年 21年度から 27年度まで	88,992,000	46,440,000	0	41,857,000	2,099,000	2,484,000	46,440,000	46,440,000 大学
平成19年度 育英奨学生貸付金	貸付金 11月	平成19年 20年度から 25年度まで	195,912,000	179,377,000	0	178,837,000	540,000	0	179,377,000	179,377,000 大学
平成20年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成20年 21年度から 28年度まで	284,904,000	177,882,000	0	170,430,000	2,484,000	4,968,000	177,882,000	177,882,000 大学
平成21年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成21年 22年度から 27年度まで	195,912,000	133,002,000	0	130,410,000	1,296,000	1,296,000	133,002,000	133,002,000 大学
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成22年 23年度から 28年度まで	779,544,000	443,772,000	0	268,704,000	132,442,000	42,626,000	443,772,000	443,772,000 大学
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成23年 24年度から 29年度まで	569,916,000	497,232,000	0	144,828,000	144,828,000	352,404,000	497,232,000	497,232,000 大学
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成24年 25年度から 30年度まで	569,916,000	491,184,000	0	0	145,800,000	345,384,000	491,184,000	491,184,000 大学
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金 3月	平成25年 26年度から 21年度まで	569,916,000	488,592,000	0	0	0	488,592,000	488,592,000	488,592,000 大学
大学賃付金 計		3,255,012,000	2,457,481,000	0	935,066,000	429,489,000	1,237,754,000	2,457,481,000	2,457,481,000	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金 該当なし

(2)補助金

予算科目(育英奨学事業費)

① 国補分 該当なし

② 単県分

(単位:円)

補助金の名称 (補助金等の創設年度)	交付先 間接	補助対象 経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況			備考	
						補助率及び 補助金額	交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	
鳥取県学生寮運営事業補助金(S46年度)	(公財)鳥取県育英会	人件費、給食委託、營繕補修	—	—	H25.5.9					
学生寮(明倫館・清和寮)の運営		(補助率:定額) 23,263,320	H25.3.26 H26.12.17 H25.4.1 H26.12.18	— — H26.4.18	H26.5.7 —					
鳥取県大学等進学資金助成金(H14年度)	個人 (19名)	教育ローンにかかる利息 (補助率:定率) 937,324	—	—	H25.6.18					定率:50万円(120万円)を限度とし、借入金に係る利子のうち2%を利率として計算して得た額
大学等への進学に際して金融機関から借入れた教育ローンの一部を助成			H25.4.8他 H25.6.18	— —	— H25.4.8他					
本庁執行分計									24,200,644	
出納機関執行分計									0	
単県分計									24,200,644	

予算科目(社会教育総務費)

① 国補分 該当なし

② 単県分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先 間接	補助対象 経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況			備考	
						補助率及び 補助金額	交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	
鳥取県人権教育推進事業費補助金(S63年度)	鳥取県人権教育推進協議会	人件費、事務費 (補助率:定額) 4,611,000	—	—	H26.4.4					
県研究集会の開催、調査研究事業、資料の刊行事業			H25.3.22	—	—					
			H25.4.1	H26.4.1	H26.4.1					
本庁執行分計									4,611,000	
出納機関執行分計									0	
単県分計									4,611,000	

(2-2)補助金(他課から配当替えを受けて執行するもの)

該当なし

(3)交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	委託料の名称 国補 県単 の別	委託契約 の相手方	当初 予定価格 (契約年月日) 変更 契約 (契約年月日)		委託期間 (契約年月日) 契約期間 (最終)	入札等年月日 (契約保証金納付等年月日)		支出の状況		備考
			契約額	(最終)		年月日	年月日	支出区分	支出年月日	
						履行検査年月日				
教育振興費	国補	人権教育研究指定校 事業	米子市他 1市	—	H25.7.25 H26.3.10	~ (免除)	H26.3.10 隨	概算 精算	H25.12.25 H26.4.2	798,760 925,703
予定価格が20万円未満のもの										
本庁執行分計										
出納機関執行分計										
目 計										0
育英奨学事業費	県単	鳥取県進学奨励資金 事務処理委託	(株)鳥取県 情報センター	(H25.4.1) 620,340	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精算	H26.4.10	620,340
	県単	鳥取県育英奨学資金 事務処理委託	(株)鳥取県 情報センター	(H25.4.1) 1,316,910	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.22 (免除)	H26.3.31	精算	H26.4.7	1,316,910
	県単	鳥取県受学金返還未 納金回収業務委託	中央債権回 収(株)	(H25.4.3) 3,5	H25.4.3 ~ 235	H25.3.29 (免除)	H26.2.28	精算	H25.8.28他	785,622
予定価格が20万円未満のもの										0
本庁執行分計										2,722,872
出納機関執行分計										0
目 計										2,722,872
合 計										4,447,335

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ

該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産

ア 土地

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末	
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格	登記年月日	面積
行政財産	該当なし									
計										
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区砧城 1丁目118-217	1,259.77	590,000,000						1,259.77
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80	180,193,500						462.80
	計		1,722.57	770,193,500						1,722.57
	合計		1,722.57	770,193,500						1,722.57
										770,193,500

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 95,495	円 84,960	円 101,240	円 79,215	
収入印紙	148,950	35,000	75,200	108,750	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシーカード	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	244,445	119,960	176,440	187,965	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 66	枚 0	枚 0 0円	枚 66	

(3)基 金

(平成26年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備考
		増	減		
鳥取県授業料減免・奨学金基金	円 319,079,470	円 572,472	円 13,807,000	円 305,844,942	取崩 H25.5.28
合 計	319,079,470	572,472	13,807,000	305,844,942	

(4)債 権

(平成26年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中		本 年 度 末		備考
			増	減			
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	
鳥取県進学奨励資金貸付金(高校・高専)	円 549,616,263	2,093	円 0	0	円 90,053,021	176	円 459,563,242 1,917
鳥取県進学奨励資金貸付金(大学)	458,391,448	476	0	0	62,015,916	31	396,375,532 445
鳥取県育英奨学資金貸付金(高校)	3,451,380,936	6,237	448,138,000	580	258,093,840	80	3,641,425,096 6,737
鳥取県育英奨学資金貸付金(大学)	2,343,666,216	2,006	429,489,000	239	182,573,647	81	2,590,581,569 2,164
修学奨励貸付金(定時制・通信制)	1,148,000	4	336,000	0	504,000	1	980,000 3
合 計	6,804,202,863	10,816	877,963,000	819	593,240,424	369	7,088,925,439 11,266

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土 地

行政・普通財産の区分	貸付目的	所在地	数量又は面積	貸付年月日	当初貸付年月日	貸付期間	貸付料(円)	貸付先	備考
							単価	本年度 貸付料 額	住所、氏名
行政財産	該当なし								
計								0	
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区成城 1丁目118-217	1259.77m ²	S63.11.1	S63.11.1	S63.11.1 ~H30.10.31	無償	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会	
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80m ²	H3.6.20	H3.6.20	H3.6.20 ~H33.6.19	無償	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会	
計								0	
	合計							0	

イ 建 物 該 当 な し

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

該 当 な し

21 借受不動産明細調べ

該 当 な し

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該 当 な し

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該 当 な し

24 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

25 備品の処分状況調べ

該 当 な し

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該 当 な し

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

貸付金の名称	貸付先	前年度末現在 貸付残高		本年度 貸付額		本年度 償還額		本年度 不納欠損額		本年度 償還免除額		(A+B)-(C+D+E)
		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	
鳥取県進学奨励資金(高校・高専)	貸与者	1,917人	549,616,263	0	61,632,868	812,070	37,581,847	449,589,478				
鳥取県進学奨励資金(大学)	貸与者	445人	458,391,448	0	44,341,149	0	20,836,793	393,213,506				
鳥取県育英奨学資金(高校)	高校生	6,737人	3,451,380,936	448,138,000	241,962,142	228,300	2,927,400	3,654,401,094				
鳥取県育英奨学資金(大学等)	大学生等	2,164人	2,343,666,216	429,489,000	182,169,169	0	0	2,590,986,047				
修学奨励貸付金	定時制・通信制高校生3人		1,148,000	336,000	0	0	504,000	980,000				
	合計		6,804,202,863	877,963,000	530,105,328	1,040,370	61,850,040	7,089,170,125				

(2) 債還状況

区分	前年度末現在 貸付残高	本年度 貸付額	区分		收入調定額		本 年 度		本 年 度		備考
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	
元金	549,616,263	0	過年度分		194,274,749	24,960,335	812,070	0	168,502,344		(C-D-E)-(C+F)
			現年度分		52,471,174	36,672,533	0	37,581,847	15,798,641	459,563,242	
			小計		246,745,923	61,632,868	812,070	37,581,847	184,300,985		
利子			過年度分								
			現年度分								
			小計								
			合計		246,745,923	61,632,868	812,070	37,581,847	184,300,985		

区分	前年度末現在 貸付残高	本年度 貸付額	区分		收入調定額		本 年 度		本 年 度		備考
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	
元金	458,391,448	0	過年度分		51,975,962	7,980,471	0	0	43,995,491		(A+B)-(C+F)
			現年度分		41,142,556	36,360,678	0	20,836,793	4,781,878	396,412,099	
			小計		93,118,518	44,341,149	0	20,836,793	48,777,369		
利子			過年度分								
			現年度分								
			小計								
			合計		93,118,518	44,341,149	0	20,836,793	48,777,369		

鳥取県育英奨学資金(高校)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不純欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期末到来分 (A+B)-(C+F)
元金	3,451,380,936	448,138,000	過年度分	62,345,550	13,019,682	176,700	0	49,149,168	3,641,421,496
			現年度分	255,170,040	228,942,460	51,600	2,927,400	26,175,980	
			小計	317,515,590	241,962,142	228,300	2,927,400	75,325,148	
			過年度分						
			現年度分						
			小計						
			合計	317,515,590	241,962,142	228,300	2,927,400	75,325,148	

鳥取県育英奨学資金(大学等)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不純欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期末到来分 (A+B)-(C+F)
元金	2,343,666,216	429,489,000	過年度分	16,903,496	3,979,024	0	0	12,924,472	2,590,581,569
			現年度分	182,573,647	178,190,145	0	0	4,383,502	
			小計	199,477,143	182,169,169	0	0	17,307,974	
			過年度分						
			現年度分						
			小計						
			合計	199,477,143	182,169,169	0	0	17,307,974	

修学奨励貸付金(定期制・通信制高校)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不純欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期末到来分 (A+B)-(C+F)
元金	1,148,000	336,000	過年度分	0	0	0	0	0	0
			現年度分	0	0	0	0	504,000	0
			小計	0	0	0	0	504,000	0
			過年度分						
			現年度分						
			小計						
			合計	0	0	0	0	504,000	0

○ 意見・要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし